

## 第45回例会報告(5月22日)

## 【出席報告】

・会員数 62名  
 ・当日出席率 59.62%  
 ・出席数 34名  
 ・前々回修正出席率 100% 26回目  
 ・欠席数 28名  
 ・欠席率 45.38%

<欠席会員> 天野、濱田、飯、川上、近藤(正)、松木、光藤、宮本、村上(修)、越智(務)、尾越、佐伯、佐々木、白石(天)、白石(洋)、竹田、玉井、田中、渡邊(一)、渡辺(易)、八木

〔免除会員〕 原、松本、中川、瀬野、曾我部、宇高、高木

<5/8欠席補填> (4/27地区協) 檜垣(巧)、飯、(5/2伊予三島) 大澤、(5/6今治南) 十河、(5/8新橋) 八木、(5/17地区大会) 天野、初田、檜垣(圭)、近藤(正)、光藤、白石(天)、(5/20今治南) 村上(修)、坂本、竹田

会長報告・5月17日(土)～18日(日)に松山で開催された地区大会に、当クラブから31名が出席しました。桑原ガバナーエレクトから、地区ロータリー100年委員会に当クラブから委員に入ってほしい旨の話がありました。

・篠永ガバナー補佐から6月中に再度当クラブを訪問したい旨のお手紙を頂きました。例会終了後、1年間の総括をさせて頂きたいとのことです。

幹事報告・徳島プリンスRCより創立10周年記念誌を頂いています。

・回覧物；他クラブ週報、「友」インターネット速報、R JW更新情報、他

## 地区大会報告

大澤正尚会長 ～会長・幹事協議会について～ 千玄室RI会長代理から、ポリオブラスについて話があった。その他、協議会では「再来年のロータリー100周年に各地区、各クラブで何か記念行事を行ってほしい」、「2005-2006年度RI会長候補に千玄室氏を推薦したい」などの話があった。

冠康秀会員 ～第1日本会議：式典について～ 地区内外から96クラブ、2165名が出席。「伊予の松山でロータリーを語ろう、考えよう、そして行動しよう」との開会挨拶の後、ガバナー補佐から各クラブの特徴についてコメントを加えながらのクラブ紹介があった。松本ガバナーからは「四国は一つ、友情を芽生えさせ、親睦を深めよう」との、千玄室RI会長代理からは「ロータリーの道は奉仕の哲学。一人一人行動しよう。ロータリー100周年に向けて会員150万人を目標としている。達成は無理かもしれないが、目標の意義を理解してほしい。」との挨拶があった。続いて、ポリオ撲滅募金キャンペーンに当地区から2万5000ドルを贈呈した。最後に、2004年に大阪を中心に開催されるRI国際大会(大会委員長 千玄室氏)について、前回日本で開催されたときの出席者数を超える4万人以上の出席を目指したいので、多くの参加をお願いしたい旨の案内があった。

西本信保会員 ～基調講演・パネルディスカッションについて～ RI元理事 今井鎮雄氏から「変革する時代とロータリーの役割」と題して講演があった。世界から日本を見たとき、日本は心の貧しい国と見られている。ミレニアム・サミットで、小淵元首相は「人間の安全保障委員会」を提唱した。日本のこれからやるべきことは、国を超え、人間を中心に考えることが大事。ポリオ撲滅で日本の果たした役割は大きい。

続いて、「魅力あるロータリーを目指して」パネルディスカッションが行われた。香月コーディネーターからは「現在、ロータリーは立ち止まって考えるときがきた」、各パネラーからは「思いやりと寛容の心をもって、それぞれの器に応じたロータリー運営をすべき」、「大きなクラブは大きな奉仕、小さなクラブは身の丈にあった奉仕を」、「ボランティアの心をもって、顔に笑顔を絶やさず、共通の目的意識を持とう」などの意見が述べられた。今井鎮雄氏からは、介護の問題について「物を与えるのではなく、地域社会でどう取り組み、面倒を見るかが大切」との発言があった。

矢野暢生会員 ～第2日本会議：記念講演について～ 裏千家前家元 千玄室氏から「ロータリーと茶の心」と題して講演があった。茶道の心を世界に広げるのはロータリーの奉仕の精神に通じる。茶碗の中の緑は自然の緑を表現している。自然を大切にしないと地球は滅びる。恵まれない人に物を差し上げるのは、茶道のおもてなしの心に通じる。会員同士、広いつながりを持って、ロータリーのよさを確認してほしい。

## 次回例会(5月25日)

〔職場訪問例会〕 四国電力(株)伊方発電所を見学

5月25日(日) 8:50 今治商工会議所前発 = 昼食 = 伊方発電所見学 = 萩森蒲鉾店  
 = 内子町街並み = 19:00頃 今治商工会議所前着

5月29日(木)例会の振替です。29日は例会はありません。